

## 【ワイヤレス動作による未登録デバイスの識別】 IBM

### ①要約：

このアイデアは、IBM が従業員のオフィス利用を効率化するために開発した職場管理システムについて説明しています。システムは、無線データの AI 分析を通じて、従業員と訪問者の動きを判別し、オフィスの占有率を把握することができます。

### ②目的：

このシステムの目的は、企業がオフィススペースを最適に活用し、経営コストを削減することです。特にコロナ禍において、在宅勤務の需要が増えたため、オフィススペースの縮小と効率化の重要性が高まっています。

### ③新規性：

従業員や訪問者のスマートフォンを活用した無線データの AI 分析を通じて、誰がオフィスにいるのか、どのくらいの人数が使用しているのかを把握するというアイデアは新規性があります。また、従業員の登録デバイスと未登録デバイスの無線挙動を分析して、訪問者を自動的に分類するという手法も独創的です。

### ④独自性：

このシステムの独自性は、オフィス利用の効率化とコスト低減を目指している点にあります。従来のオフィス管理の手法では、カメラやセンサーなどの追加設備が必要であり、コストやプライバシーの問題もあったため、革新的なアプローチといえます。

### ⑤経済価値：

このシステムは、オフィススペースの効率化によるコスト低減に直結します。従業員が少ないオフィススペースや来客が少ないスペースは、縮小することで不要なコストを削減することができます。また、オフィススペースの使用効率を高めることで、より多くの人々を受け入れることができ、ビジネスの成果を向上させることも可能です。最終的には、経済的なメリットをもたらすことが期待されます。